

熊本県

「芦北地区特定民有林直轄治山施設災害復旧等事業」 の実施に向けて

国有林野事業の

取組

熊本県における被害の概要



「令和2年7月豪雨」により、九州各地で土砂災害や河川氾濫による甚大な被害が発生しました。特に熊本県南部地方では、ほとんどの観測地点で12時間降水量の観測史上最大の記録を更新し、球磨川では大量の雨水が一度に流れ込んだことにより、至るところで堤防決壊等が発生して氾濫を引き起こすなど、未曾有の被害をもたらしました（写真1・2）。

この豪雨災害により、河川の氾濫や土砂災害等で60名を超える尊い人命が失われ、家屋、道路、河川、鉄道、農地等が損壊するなど地域の生活基盤にも大きな影響が及びました。

また、これまで林地保全のため整備した治山施設は85箇所まで損壊や埋没したほか、新たに発生した林地崩壊も



写真1

岩本地区（芦北町）

「管内概要」

九州森林管理局は、九州・沖縄8県に所在する森林の約2割（約54万ha）に相当する国有林の管理経営を担っています。

九州の国有林は、九州中央山地から雲仙、阿蘇、九重、霧島、桜島といった火山地帯、対馬や五島、屋久島、奄美、南西諸島といった離島まで、南北約1,200kmの広範囲に分布しており、多様な森林生態系を有しています。

また、九州は温暖多雨な環境下のため、スギやヒノキの生育にも恵まれており、日田や小国、球磨、飫肥などの歴史的にも有名な林業地が発展してきた地域でもあります。



縄文杉▶



所の基礎データ

所在地	熊本県熊本市西区京町本丁2番7号		
区域面積	419万ha	うち森林面積	277万ha
国有林野面積	54万ha		
管轄区の関係市町村	8県 (福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県)		

九州森林管理局・治山課

779箇所にも及び、被害総額は約352億円（9月2日現在）に上りました。これは、「平成28年熊本地震」（林地荒廃等の被害479箇所、411億円）に匹敵するほどの被害規模です。



写真2 柳迫地区（津奈木町）



写真3 ヘリコプター調査結果のアプリ画面

九州森林管理局の初動対応



「令和2年7月豪雨」による災害を受け、九州森林管理局（以下、「九州局」という。）では、早急に被害状況を把握するため、発災後、直ちにヘリコプターによる調査を実施しました。その際、民有林と国有林の被害を一体的に把握するため、熊本県の林務担当職員も搭乗し、森林総合研究所九州支所の専門家にも同行をいただきました。

また、今回の被災地は広範かつ多数であったことから、県から民有林への現地調査の支援要請があり、延べ12名の森林管理局職員を災害現場へ派遣しました。今回の調査にあたっては、農林水産省と宇宙航空研究開発機構（JAXA）が協定した地球観測衛星データを活用して、予め机上で大規模崩壊地等の把握に努めたほか、ヘリコプター調査の際に、森林GISとGPSが連動する、

林野庁で開発した「災害調査アプリ」を導入するなど、ICT技術を積極的に活用しました（写真3）。この結果、これまでより迅速に正確な被災箇所や状況を把握し、局・署はもとより、関係自治体に対してもタイムリーに情報共有・提供を行うことができました。

今後の治山対策



今回の「令和2年7月豪雨」による災害が、大規模災害復興法に基づく非常災害に指定されたことから、熊本県知事から農林水産大臣に対して、芦北地区の民有林内の治山施設や林地の復旧を国の直轄代行で対応するよう要請がありました（写真4）。これを受け、九州局では、緊急に復旧が必要な36箇所について、「特定民有林直轄治山施設災害復旧等事業」として災害復旧事業を実施することとしました。

なお、この特定民有林直轄治山施設災害復旧等事業は、宮城県気仙沼地区（東日本大震災）、熊本県阿蘇地区（熊本地震）に続いて全国で3例目となります。令和2年10月1日、熊本県芦北地域振興局内の庁舎に九州局の「芦北地区特定民有林直轄治山対策室」を設置しました（写真5）。今後も熊本県を始めとする関係機関と連携しながら、地域の安全・安心のため、迅速な復旧に取り組んでまいります。

【事業概要】（図1）

- ・実施場所：熊本県1市2町（水俣市、芦北町、津奈木町）
- ・実施内容：特定民有林直轄治山施設災害復旧事業 8箇所
- ・特定民有林直轄災害関連緊急治山事業 28箇所
- ・事業費：約31億円
- ・実施期間：令和2年度～令和5年度（予定）



写真4 8月25日熊本県から要請書受理

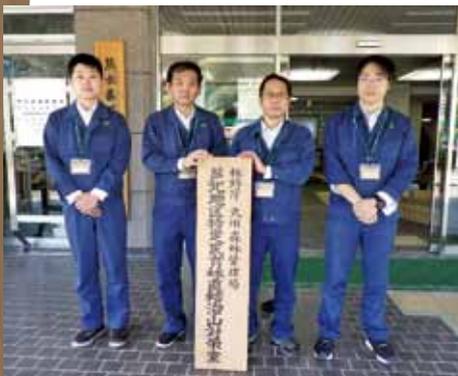


写真5 芦北地区特定民有林直轄治山対策室のスタッフ



図1 事業予定箇所位置図